

水の工場 ～浄水場～

大阪広域水道企業団には、村野浄水場、庭窪浄水場、三島浄水場の3か所の浄水場があり、合計 233 万 m^3 /日の施設能力（浄水処理能力）を有しています。

● 村野浄水場

施設能力 1,797,000 m^3 /日

企業団が供給する水道用水の約8割をつくっており、わが国最大(世界でも有数)の施設能力を有する浄水場です。

また、浄水施設を立体的に配置した、世界でも珍しい階層系浄水施設があります。



階層系浄水施設



村野浄水場

● 庭窪浄水場

施設能力 203,000 m^3 /日

昭和26年に給水を開始した、企業団で最も歴史のある浄水場です。また、「触る・動かす」など、体験しながら楽しく水づくりを学べる見学施設があります。



水道見学施設
(屋内展示室)



庭窪浄水場

● 三島浄水場

施設能力 330,000 m^3 /日

三島浄水場では、沈んでん処理までを行う三島浄水施設(摂津市)と、ろ過処理以降を行う万博公園浄水施設(吹田市)に機能を分けて浄水処理をしています。万博公園浄水施設では、万博記念競技場の地下に浄水池やポンプ設備を配置し、土地を有効利用しています。



万博公園浄水施設



三島浄水場